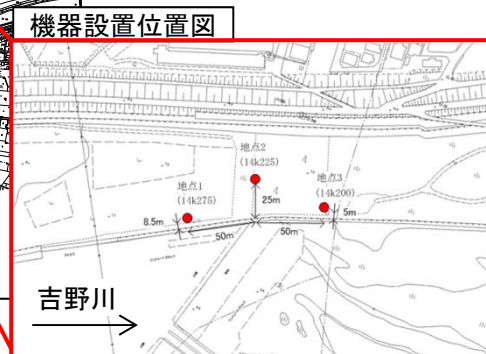
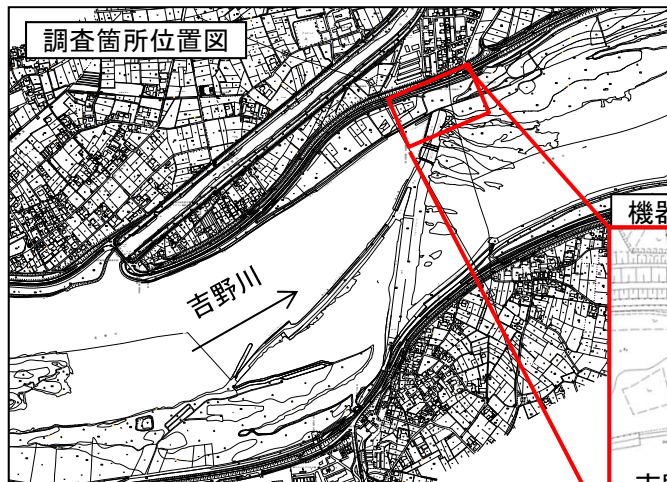


《別添一6》 左岸迂回流調査

左岸迂回流調査

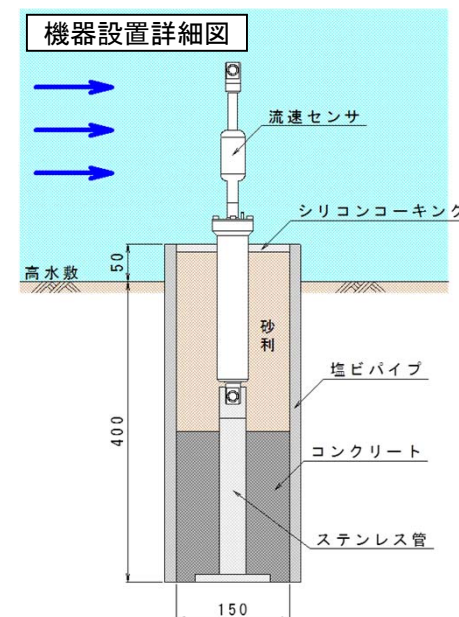
左岸迂回流調査

洪水時において堰を迂回する流れの流向・流速を計測し、堤防に与える影響の有無を把握するため、電磁流向・流速計を用いた調査を行いました。



測定機器(電磁流向・流速計)

流速センサにより発生する磁界を水が横切ることによって電圧が発生し、電流から流向及び流速を測定する。



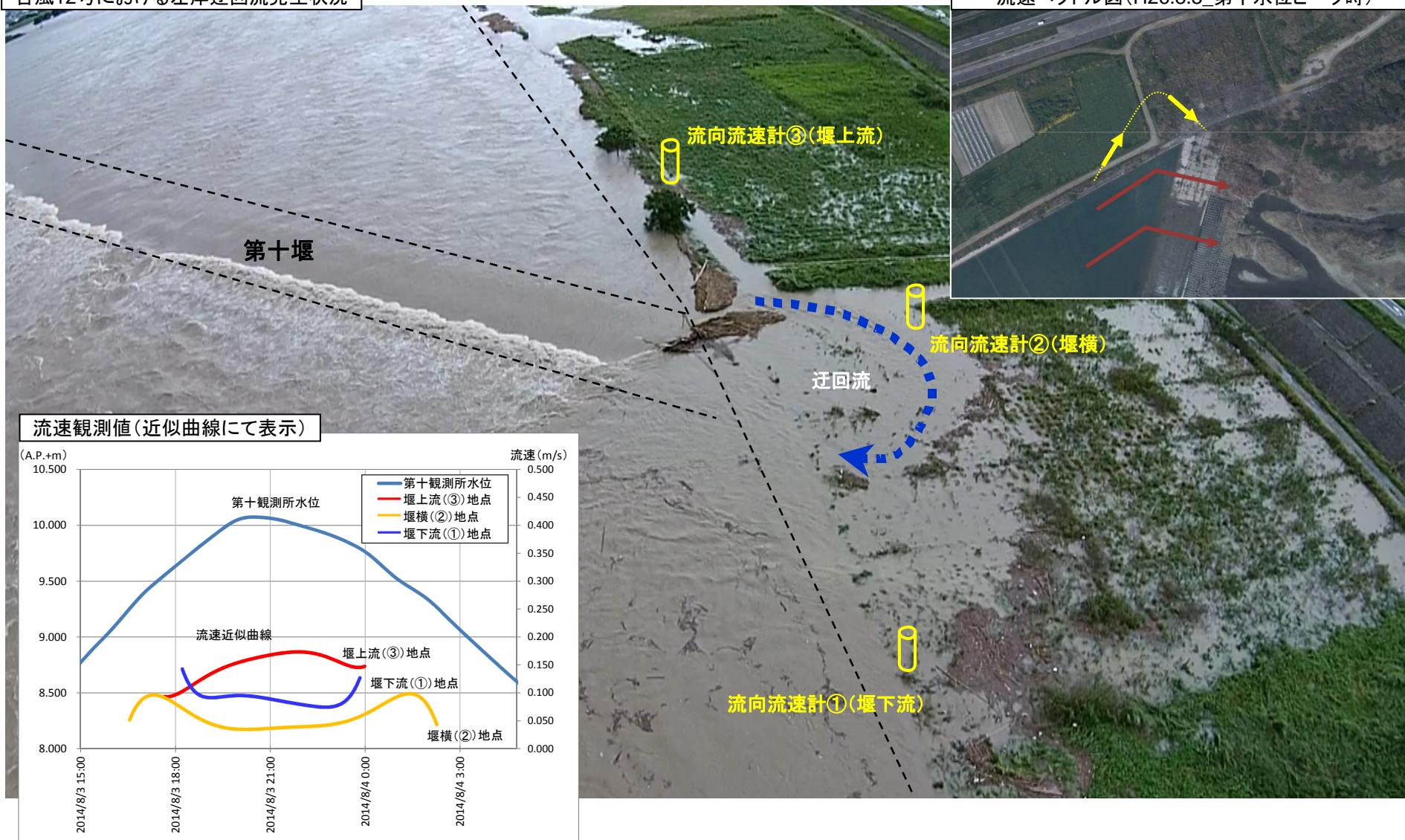
左岸迂回流調査

迂回流の発生状況

台風12号の観測では、3地点に配置した流向・流速計のすべてにおいて計測しました。初めに流れを観測した地点は堰横(②)地点であり、次に堰下流(①)地点、最後に堰上流(③)地点でした。第十水位がピーク時(平成26年8月3日)の各観測地点での流向・流速を表した図を示しています。調査の結果、堰横(②)地点と堰上流(③)地点の流向より、迂回流の発生を確認しました。

台風12号における左岸迂回流発生状況

流速ベクトル図(H26.8.3_第十水位ピーク時)



流速観測値(近似曲線にて表示)

